

欧州委員会は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックが重大な課題をもたらしているにもかかわらず、**欧州の気候変動に対する意欲的な目標を引き上げ、2030年までにEUの温室効果ガス排出量を55%削減**することを提案しています。当初目標の40%削減を上回る、この意欲的な目標は、2050年までにEUが「気候中立」を達成する道筋をつけることを目指しています。

## 新しい目標

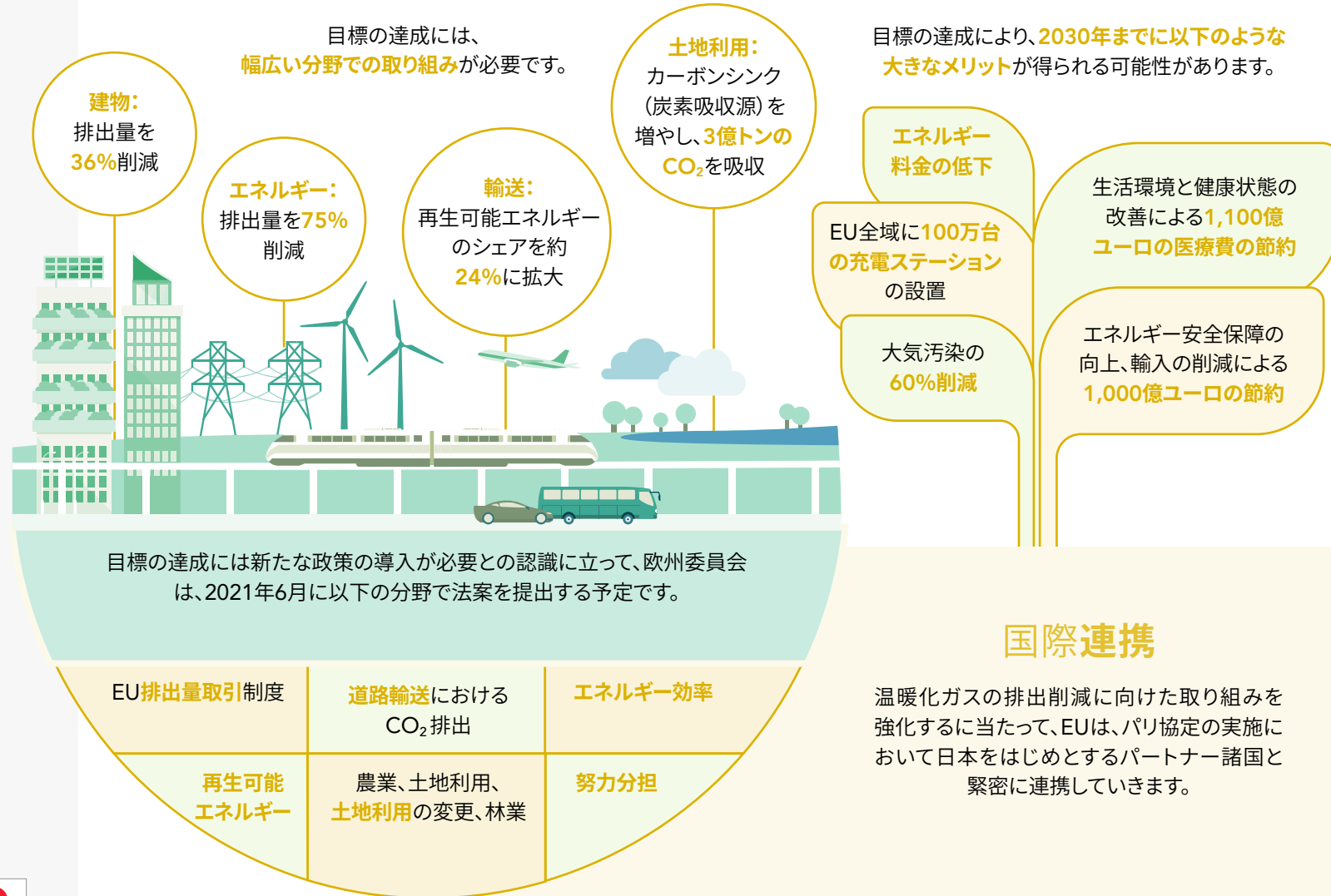
この新しい目標に基づいて、新型コロナウイルス感染症のパンデミックからの欧州経済の復興では、以下に重点的に取り組みます。



EU加盟国がグリーン経済への移行に投資することを支援するため、加盟国は**7,500億ユーロの復興基金「次世代EU」とEUの次期長期予算**を活用することができます。

## 行動計画

目標の達成には、**幅広い分野での取り組み**が必要です。



## 国際連携

温暖化ガスの排出削減に向けた取り組みを強化するに当たって、EUは、パリ協定の実施において日本をはじめとするパートナー諸国と緊密に連携していきます。

